

KXC-AH100T

HD映像入出力対応 DSPサウンドシステム

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など
本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお
問い合わせの内容を掲載しています。
本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこ
ちらもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



目次

はじめに

本書の見かた	3
安全上のご注意 (必ずお読みください) ..	4
取り付けや配線について	4
使用方法について	6
異常時の問い合わせ	6
使用上のご注意	7
LCD 画面について	7

基本操作

機能ガイド	8
各部の名称とはたらき	9
リモコン	9
基本操作	9
電源を入れる / 切る	9
音量を調整する	9
画面表示と操作ボタンについて	9
microSD カードを入れる / 取り出す	11

環境設定

車種別のプリセットを選択する	12
車種別設定をする	12
車種別設定ファイルをダウンロードして 設定する	13
個別に構成を設定する	14
車両タイプを設定する	14
スピーカー構成を設定する	14
クロスオーバーを設定する	15
ライン出力を設定する	16
ライン出力をプリアウトとして使用する (ローパスフィルターをスルーに設定する) ..	16

操作説明

サウンドの設定をする	19
バランス / フェーダーを設定する	19
リスニングを設定する	20
プリセットイコライザーを設定する	23
ホールシミュレーションを設定する	24
音響効果を設定する	25
設定値の保存と読み込み	26
設定値を保存する	26
設定値を読み込む	26

システム

ファームウェアをアップデートする ..	27
システムを初期化する	27
接続のしかた	28
ディスプレイオーディオを接続する	28
HDMI 出力機器を接続する	28
リアモニターを接続する	28
サブウーファーを接続する	29

付録

故障かなと思ったら	30
商標について	32
ソフトウェアについて	33
主な仕様	35

本書の見かた

表記	説明
➔ 「各部の名称とはたらき」(P.9)	本書の参照するページを表しています。
「サウンド設定」	リモコン画面に表示されるメニュー名を表しています。
[HALL] ボタン	リモコンのボタンを表しています。
	手順の補足説明や制限事項について説明しています。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。
実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

安全上のご注意（必ずお読みください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

⚠ 警告

	取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
	作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す 外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。
	本機は DC12V ⊖アース車以外で使用しない 火災や故障の原因となります。DC24V 車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。
	エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
	取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない 制御不能や発火、交通事故の原因となります。
	視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 交通事故やケガの原因となります。
	工具は寸法が合ったものを使用する ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

**説明書に従って取り付け・配線をする**

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

**必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

**作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**配線コードはテープを巻いて保護する**

車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電やショートによる火災の原因となります。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

**ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**

誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

**包装用ビニール袋はかたづける**

製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

⚠ 注意**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**本機の通風口や放熱板をふさがない**

本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告

-  **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
-  **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
-  **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  **本機内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
-  **故障や異常な状態のままで使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。
-  **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意

-  **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
-  **発熱部には手を触れない**
本機にはアンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は高温になります。放熱器に触れると、やけどの原因となります。
-  **上に乗らない、物を載せない**
製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。こわれたり、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。
-  **上に飲料水などの入った容器を置かない**
製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

-  **異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■ ご使用方法について

- エンジンを止めた状態でのご使用は、バッテリー上がりの原因となることがあります。
- ディスプレイオーディオのトーンコントロールやグラフィックイコライザーなどで低音域を上げ過ぎて使用すると、本体に過大な負荷が加わり、故障の原因となります。

■ 取り付けについて

誤った取り付けをした場合は、本機が正しく動作しないことがあります。取り付け、接続のしかたなどはスタートガイドを参照して本機を正しく取り付けてください。

■ 電源について

本機の動作電源電圧はDC12Vです。必ず付属の電源 / スピーカーケーブルを使用し、接続してください。ケーブルの改造（バッテリーに直接つなぐ）などは絶対に行わないでください。

■ 本機のお手入れ

本体、リモコンが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり、文字が消えたり、変形や変質、破損の原因となります。

■ リモコンについて

ダッシュボードの上など、直射日光があたる場所に置かないください。高温となり画面や操作パネルの故障の原因となります。

LCD 画面について

- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これはLCD画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これはLCD画面特有の現象で故障ではありません。
- LCD画面の特性により、画面を見る角度によっては表示が見つからないことがあります。故障ではありません。
- LCD画面のスクロール操作中に画面のちらつき（フリッカー）が発生することがあります。これは画面の更新処理による正常な動作で故障ではありません。
- 極端に車内が高温から低温になると（直接エアコンの送風口を当てる）LCD画面がくもる場合があります。これは故障ではありません。しばらくすると回復します。長時間回復しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

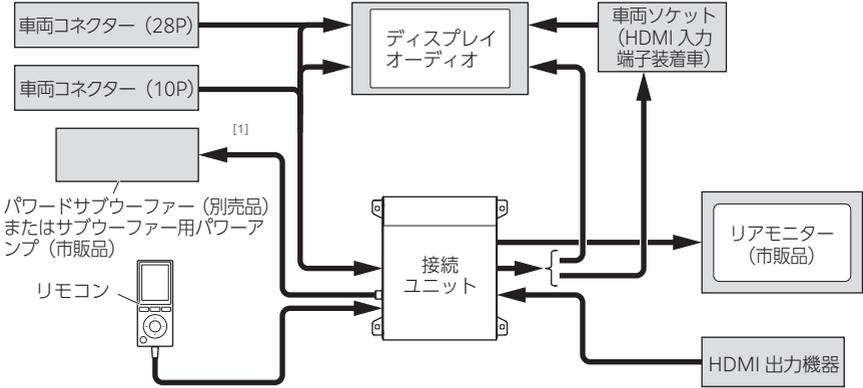
機能ガイド

本機を使用するまでの流れを、順を追ってご紹介します。はじめてご使用になるときや、設定を初期化した後などに必要な準備・設定を確認してください。

取付

< 取付概要図 >

※取り付けは専門の業者にご依頼ください。



・^[1] ライン出力をプリアウトとして使用する場合は、➡「ライン出力を設定する」(P.16)をご覧ください。

準備

ご使用前にディスプレイオーディオ側のサウンド設定(バランス/フェーダーなど)をフラット(中央)状態に設定する。

あらかじめ車種ごとに設定されたサウンド設定を使う

< 車種別のプリセットを選択する >

➡ 「車種別設定をする」(P.12)

車種別のプリセットがないまたはスピーカーの位置など細かく設定したい場合

< 個別に構成を設定する >

➡ 「車両タイプを設定する」(P.14)

➡ 「スピーカー構成を設定する」(P.14)

➡ 「クロスオーバーを設定する」(P.15)

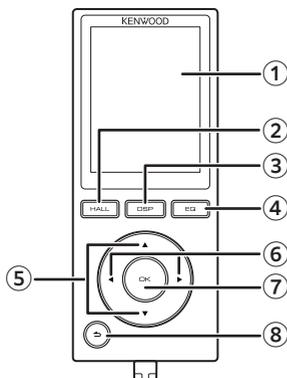
サウンド設定

➡ 「サウンドの設定をする」(P.19)

➡ 「設定値の保存と読み込み」(P.26)

各部の名称とはたらき

リモコン



番号	名称とはたらき
①	LCD 画面 ・メイン画面、設定画面、設定変更画面などを表示します。 ・一定時間操作しないと画面が自動でオフになります。ボタン操作で再度表示します。
②	[HALL] ボタン ホールシミュレーションを選択します。
③	[DSP] ボタン DSP の ON/OFF を設定します。
④	[EQ] ボタン イコライザーを選択します。
⑤	[▲] / [▼] ボタン ・設定項目を選択します。 ・設定値を変更します。 ・バランス/フェーダー設定画面で前後のバランスを調整します。 ・イコライザー設定画面で調整したいレベルを選択します。
⑥	[◀] / [▶] ボタン ・バランス/フェーダー設定画面で左右のバランスを調整します。 ・イコライザー設定画面で調整したい周波数を選択します。
⑦	[OK] ボタン ・選択した項目や値を確定します。 ・メイン画面から設定画面を表示します。 ・設定画面から選択した項目（設定変更・設定保存など）の画面を表示します。
⑧	[←] (戻る) ボタン ・前の画面に戻ります。 ・設定値をキャンセルします。 ・押し続ける：設定画面からメイン画面に戻ります。

基本操作

電源を入れる / 切る

電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- ・イグニッションキーを「OFF」にしても、最大で約 30 秒間画面が表示される場合があります。

音量を調整する

ディスプレイオーディオ側の音量を調整します。

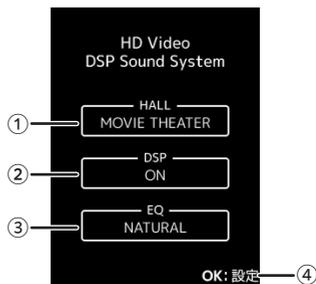


- ・操作方法は、ディスプレイオーディオの取扱説明書をご覧ください。

画面表示と操作ボタンについて

本機は、リモコンを使って操作します。ボタンの機能は表示している画面によって異なります。

メイン画面



① HALL

ホールシミュレーションの設定を表示します。[HALL] ボタンを押すたびに、モードが下記の順に切り替わります。

OFF → CHURCH → LIVE ARENA → MOVIE THEATER → STADIUM → JAZZ CLUB → LIVE HOUSE

② DSP

DSP 機能の ON/OFF を表示します。[DSP] ボタンを押すと、ON/OFF が切り替わります。

③ EQ

イコライザーの設定を表示します。[EQ] ボタンを押すたびに、モードが下記の順に切り替わります。
 NATURAL → ROCK → POPS → EASY → TOP40 → JAZZ → EQUUSER1 → EQUUSER2 → EQUUSER3 → EQUUSER4 → VEHICLE

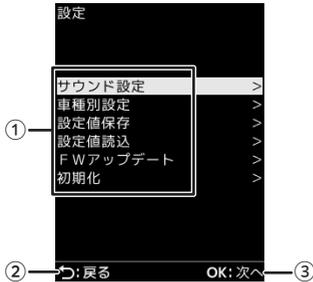
④ OK：設定

[OK] ボタンを押すと、設定画面を表示します。



- DSP 機能が「OFF」のときは、設定の変更はできません。
- イコライザー設定の「VEHICLE」は、車種別設定を反映したイコライザーカーブです。
- お買い上げ時のイコライザー設定は、「NATURAL」（フラット）に設定されています。

設定画面



① 設定項目表示

[▲] または [▼] ボタンで項目を選択します。さらに設定を変更する場合は「設定変更画面」をご覧ください。

② 戻る

[←] (戻る) ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

③ OK：次へ

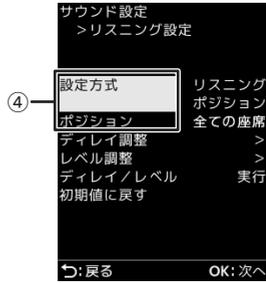
[OK] ボタンを押すと、選択した項目（設定変更・設定保存など）の画面を表示します。



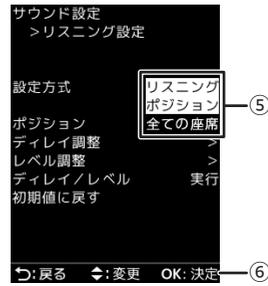
- 設定画面で [DSP] ボタンを押すとメイン画面に戻り、DSP 機能が「OFF」に設定されます。

設定変更画面

・ 設定項目の選択



・ 設定値の変更



④ 設定項目表示

①の設定値を [▲] または [▼] ボタンで選択します。

⑤ 設定値

[▲] または [▼] ボタンで設定値を変更します。

⑥ OK：決定

[OK] ボタンを押すと、変更した値が確定されます。



- [←] (戻る) ボタンを押し続けると、メイン画面が表示されます。
- 設定値が数値の場合、[▲] または [▼] ボタンを押し続けることで、数値を段階的にスキップして変更できます。

microSD カードを入れる / 取り出す

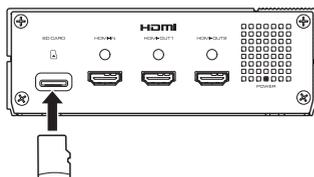
本機で使用できる microSD カードについては、https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ をご覧ください。

microSD カードを出し入れするときは、データの破損・消失防止のため、必ず「電源オフ」(P.9)にした状態で行ってください。

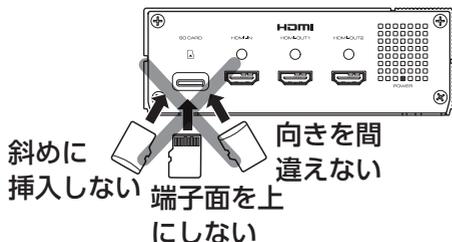
■ microSD カードを入れる

microSD カードのロゴがある面を上にして、端子面から挿入する

microSD カードを microSD カードスロットに力チツと音がするまで挿入します。カードの向きに注意してください。



● 間違った入れかた



■ microSD カードを取り出す

microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出したら引き抜く

車種別のプリセット を選択する

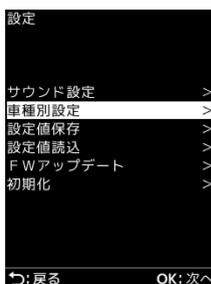
車種別設定をする

あらかじめ登録された車種別設定を呼び出すことで、車種に最適なサウンドを反映させることができます。

- 1 ディスプレイオーディオ側のサウンド設定（バランス/フェーダーなど）がフラット（中央）になっているか確認する

操作方法は、ディスプレイオーディオの取扱説明書をご覧ください。

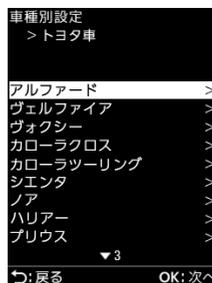
- 2 メイン画面で [OK] ボタンを押す設定画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「車種別設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



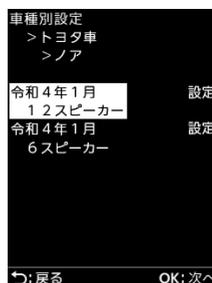
- 4 [▲] または [▼] ボタンで車両メーカーを選択し、[OK] ボタンを押す



- 5 [▲] または [▼] ボタンで設定したい車種を選択し、[OK] ボタンを押す



- 6 [▲] または [▼] ボタンで設定したい年式 / スピーカー数を選択し、[OK] ボタンを押す



対応している車種 / 年式については、2025年12月時点の情報です。最新の車種別設定は、以下のウェブサイトでご確認ください。
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/

- 7 「設定」が選択された状態で [OK] ボタンを押す

車種に最適なサウンドに設定されます。



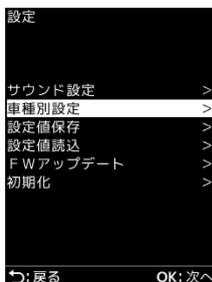
- 車種別設定を行うと、サブウーファースピーカーのスピーカー口径は「なし」に設定されます。サブウーファースピーカーを接続している場合は、サブウーファースピーカーのスピーカー口径を設定してください。▶ 「スピーカー構成を設定する」(P.14)

車種別設定ファイルをダウンロードして設定する

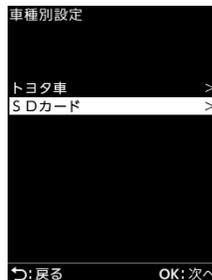
最新の車種別設定は、当社ホームページからダウンロードできます。

ダウンロードしたファイルの本機に読み込むことで、車種に最適なサウンドを反映させることができます。

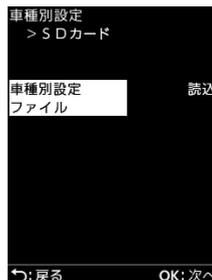
- 1 市販の microSD カードをカードリーダーに挿入してパソコン (Windows または Mac) に接続する
- 2 当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ にアクセスして、車種別設定ファイルのページから車種を選んで、車種別設定ファイルをダウンロードする
- 3 ダウンロードしたファイルを microSD カードにコピーする
- 4 microSD カードをパソコンから取り出し、本機に挿入する
→ 「microSD カードを入れる / 取り出す」 (P.11)
- 5 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 6 [▲] または [▼] ボタンで「車種別設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 7 [▲] または [▼] ボタンで [SD カード] を選択し、[OK] ボタンを押す



- 8 [OK] ボタンを押す



- 9 「読込」が選択された状態で [OK] ボタンを押す

車種に最適なサウンドに設定されます。



- ・車種別設定を行うと、サブウーファースピーカーのスピーカー口径は「なし」に設定されます。サブウーファースピーカーを接続している場合は、サブウーファースピーカー口径を設定してください。→ 「スピーカー構成を設定する」 (P.14)
- ・microSD カード内に複数の車種別設定ファイルが保存されていると、読み込み時にエラーとなります。必要な車種の設定ファイルのみを保存してください。
- ・読み込んだ車種別設定ファイルは、「車種別設定」内の「トヨタ車 (SD)」に保存されます。再度ファイルを読み込むと、保存されているファイルが上書きされます。
- ・本機を初期化すると、microSD カードで読み込んだ車種別設定ファイルは削除されます。再度、ホームページからダウンロードしてください。
- ・本機で使用できる microSD カードについては https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ をご覧ください。

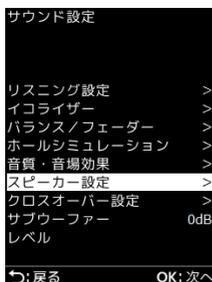
個別に構成を設定する

対象となる車種が登録されていない場合は、最初にする設定として「車両タイプを設定する」「スピーカー構成を設定する」「クロスオーバーを設定する」の順に設定を行ってください。

車両タイプを設定する

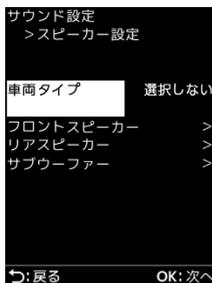
車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質が設定されます。

- 1 ディスプレイオーディオ側のサウンド設定（バランス/フェーダーなど）がフラット（中央）になっているか確認する
操作方法は、ディスプレイオーディオの取扱説明書をご覧ください。
- 2 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 4 [▲] または [▼] ボタンで「スピーカー設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 5 [▲] または [▼] ボタンで「車両タイプ」を選択し、[OK] ボタンを押す

車両タイプは「選択しない」、「コンパクト軽」、「セダン」、「ワゴン」、「ミニバン」、「SUV」、「ワンボックス」から選択できます。

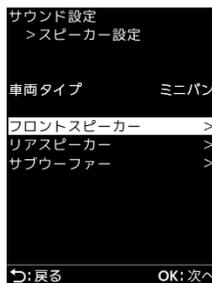


- 6 [▲] または [▼] ボタンで設定したい車両タイプを選択し、[OK] ボタンを押す

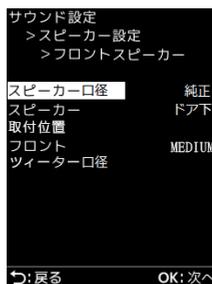
スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。

- 1 車両のタイプを設定する
→ 「車両タイプを設定する」(P.14)
- 2 [▲] または [▼] ボタンで設定するフロント/リアスピーカーまたはサブウーファーを選択し、[OK] ボタンを押す



- 3 [▲] または [▼] ボタンで設定する項目を選択し、[OK] ボタンを押す



「スピーカー口径」:

スピーカーまたはサブウーファーの口径を設定します。フロントスピーカーは「なし」に設定できません。

「スピーカー取付位置」:

スピーカーの位置を設定します。

「フロントツイーター口径」 / 「リアツイーター口径」:

ツイーターの口径を設定します。(フロント/リアスピーカーのみ)

- 4 [▲] または [▼] ボタンで変更したい設定を選択し、[OK] ボタンを押す

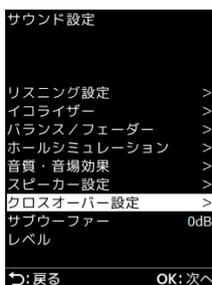
クロスオーバーを設定する

フロント/リアスピーカーとサブウーファースのクロスオーバー周波数とスロープ(減衰率)、サブウーファースの位相、スピーカーレベルを設定します。

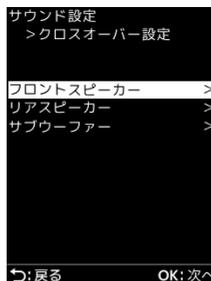


- ・ カットオフ周波数は、スピーカーにより異なります。
 - フロント/リアスピーカー(ハイパスフィルター) : 指定した周波数よりも低い成分をカットする周波数。
 - サブウーファー(ローパスフィルター) : 指定した周波数よりも高い成分をカットする周波数。この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。
- ・ カットオフ周波数とは、通過域と減衰域との境の周波数のことをいいます。定義としては、3dB低下した周波数をカットオフ周波数といいます。

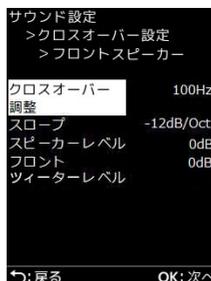
- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] で「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「クロスオーバー設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで設定するフロント/リアスピーカーまたはサブウーファーを選択し、[OK] ボタンを押す



- 5 [▲] または [▼] ボタンで設定する項目を選択し、[OK] ボタンを押す



「クロスオーバー調整」:

カットする周波数の値を設定します。
「スルー」にすると、機能がオフになります。

「スロープ」:

クロスオーバー調整で設定した帯域の音をカットするときの減衰率を設定します。
1 オクターブあたりの減衰率を dB で設定します。

「スピーカーレベル」:

スピーカーレベルを設定します。

「フロントツイーターレベル」 / 「リアツイーターレベル」:

ツイーターレベルを設定します。(フロント/リアスピーカーのみ)
スピーカー設定でツイーターの口径が設定されている場合のみ設定できます。
➡ 「スピーカー構成を設定する」(P.14)

「位相反転」:

位相の反転をする / しないを設定します。
(サブウーファースのみ)

- 6 [▲] または [▼] ボタンで設定値を変更し、[OK] ボタンを押す

ライン出力を設定する

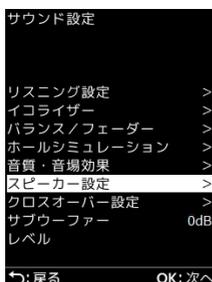
ライン出力をプリアウトとして使用する（ローパスフィルターをスルーに設定する）

本機のライン出力は、初期状態ではサブウーファー用として設定されています。プリアウトとして使用する場合は、以下のスピーカー、ローパスフィルターおよびディレイを設定する必要があります。

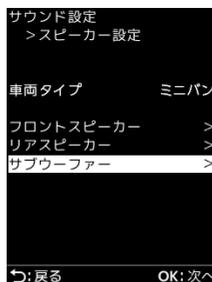
- サブウーファーのスピーカー口径
 - サブウーファーのスピーカー口径が「なし」に設定されている場合のみ「38cm Over」に設定する。
 - 「サブウーファーのスピーカー口径を設定する」(P.16)
- ローパスフィルター（クロスオーバー）
 - クロスオーバー調整を「スルー」に設定する。
 - 位相反転を「しない」に設定する。
 - 「クロスオーバーを設定する」(P.16)
- ディレイ
 - リスニングポジションが設定されている場合：サブウーファー左とサブウーファー右を、フロント左と同じ値（cm）に設定する。
 - フロントフォーカスが設定されている場合：サブウーファー左とサブウーファー右を「0ms」に設定する。
 - 「ディレイ調整をする」(P.17)

サブウーファーのスピーカー口径を設定をする

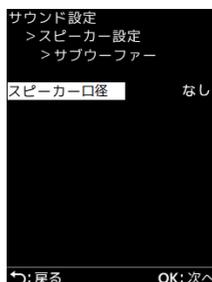
- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「スピーカー設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで「サブウーファー」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 5 [▲] または [▼] ボタンで「スピーカー口径」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 6 [▲] または [▼] ボタンで「38cm Over」を選択し、[OK] ボタンを押す

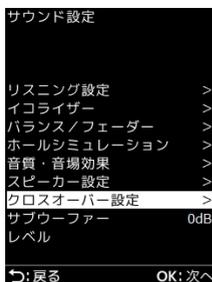


- ・ サブウーファーのスピーカー口径が「なし」以外に設定されている場合、変更する必要はありません。

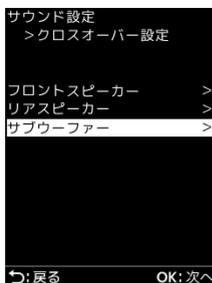
クロスオーバーを設定する

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] で「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す

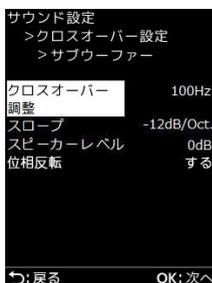
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「クロスオーバー設定」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで「サブウーファー」を選択し、[OK] ボタンを押す

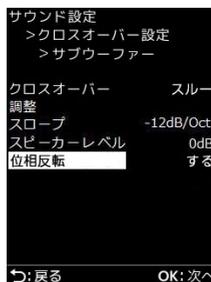


- 5 [▲] または [▼] ボタンで「クロスオーバー調整」を選択し、[OK] ボタンを押す

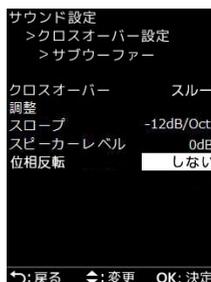


- 6 [▲] または [▼] ボタンで「スルー」を選択し、[OK] ボタンを押す

- 7 [▲] または [▼] ボタンで「位相反転」を選択し、[OK] ボタンを押す



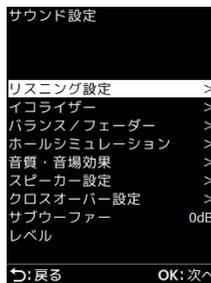
- 8 [▲] または [▼] ボタンで「しない」を選択し、[OK] ボタンを押す



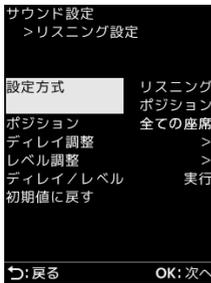
ディレイ調整をする

■リスニングポジションの場合

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] で「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「リスニング設定」を選択し、[OK] ボタンを押す

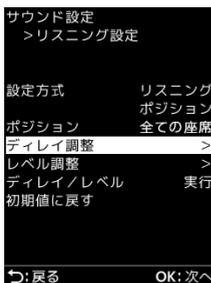


- 4 [▲] または [▼] ボタンで「設定方式」を選択し、[OK] ボタンを押す

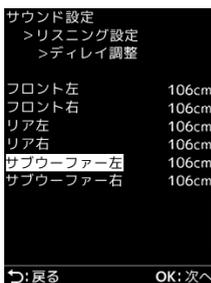


- 5 [▲] または [▼] ボタンで「リスニングポジション」を選択し、[OK] ボタンを押す

- 6 [▲] または [▼] ボタンで「ディレイ調整」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 7 [▲] または [▼] ボタンで「サブウーファー左」を選択し、[OK] ボタンを押す



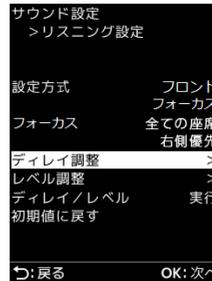
- 8 [▲] または [▼] ボタンで設定値を「フロント左」と同じ値に変更し、[OK] ボタンを押す

手順7と8をくり返して、「サブウーファー右」についても設定値を「フロント左」と同じ値に変更してください。

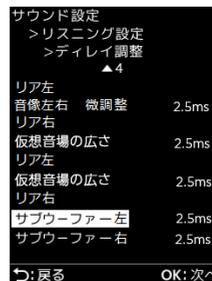
■ フロントフォーカスの場合

- 1 「ディレイ調整をする」(P.17) の手順5で「フロントフォーカス」に設定する

- 2 [▲] または [▼] ボタンで「ディレイ調整」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 3 [▲] または [▼] ボタンで「サブウーファー左」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで設定値を0msに変更し、[OK] ボタンを押す
手順3と4をくり返して、「サブウーファー右」についても同様の設定を行ってください。

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

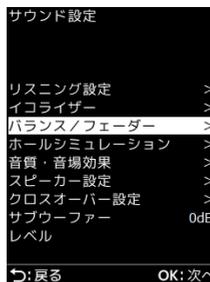
- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] で「サウンド設定」
を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 設定する項目を選ぶ

設定できる項目は以下のとおりです。

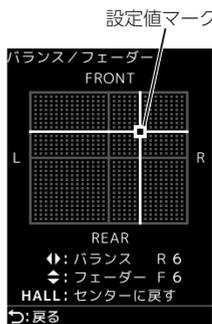
項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。→「リスニングを設定する」(P.20)
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。→「プリセットイコライザーを設定する」(P.23)
バランス/フェーダー	スピーカーの前後・左右の音量バランスを調整します。→「バランス/フェーダーを設定する」(P.19)
ホールシミュレーション	サウンド効果を設定します。→「ホールシミュレーションを設定する」(P.24)
音質・音場効果	音響効果を設定します。→「音響効果を設定する」(P.25)
スピーカー設定	スピーカーの構成を設定します。→「スピーカー構成を設定する」(P.14)
クロスオーバー設定	スピーカーのクロスオーバーを調整します。→「クロスオーバーを設定する」(P.15)
サブウーファールレベル	[▲] または [▼] ボタンを押してサブウーファールのレベルを設定します。

バランス/フェーダーを設定する

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」
を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「バランス/フェーダー」
を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 設定値マークを [◀] / [▶] ボタン
で左右 (バランス) に、[▲] / [▼]
ボタンで前後 (フェーダー) を調整
する



[HALL] ボタン:

左右 / 前後とも中央になります。

[◀] (戻る) ボタン:

前の画面に戻ります。設定値はキャンセルされず、そのまま残ります。



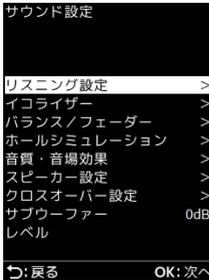
- ・ 変更した設定はすぐに反映されます。画面を戻っても元の設定には戻りません。元の値に戻す場合は、再度設定してください。

リスニングを設定する

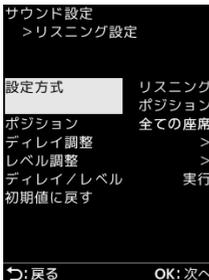
リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように音響効果を設定します。リスニング設定には2つの設定方法があります。2つ同時に設定することはできません。

- **リスニングポジション：**
設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。
- **フロントフォーカス：**
仮定の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合は「左側優先」を選んでください。

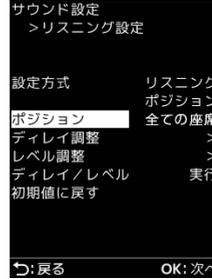
- 1 **車両タイプを設定してスピーカーを設定する**
→ 「スピーカー構成を設定する」(P.14)
- 2 **[▲] または [▼] ボタンで「リスニング設定」を選択し、[OK] ボタンを押す**



- 3 **[▲] または [▼] ボタンで「設定方式」を選択し、[OK] ボタンを押す**



- 4 **[▲] または [▼] ボタンで「リスニングポジション」または「フロントフォーカス」を選択し、[OK] ボタンを押す**
- 5 **[▲] または [▼] ボタンで「ポジション」または「フォーカス」を選択し、[OK] ボタンを押す**

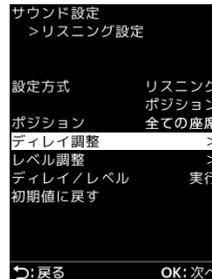


- 6 **[▲] または [▼] ボタンで設定したい座席を選択し、[OK] ボタンを押す**

選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

- 1 「リスニングを設定する」(P.20)の手順4で「リスニングポジション」に設定する
- 2 **[▲] または [▼] ボタンで「ディレイ調整」を選択し、[OK] ボタンを押す**



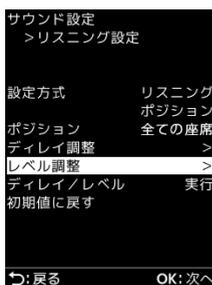
- 3 **[▲] または [▼] ボタンで設定したいスピーカーを選択し、[OK] ボタンを押す**

- 4 **[▲]** または **[▼]** ボタンで実際に測った距離を設定し、**[OK]** ボタンを押す
手順3と4をくり返して、各スピーカーの設定を行ってください。

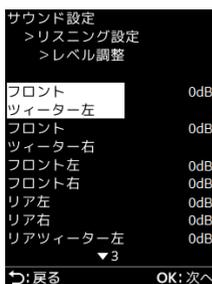


リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

- 5 **[▲]** または **[▼]** ボタンで「レベル調整」を選択し、**[OK]** ボタンを押す



- 6 **[▲]** または **[▼]** ボタンで設定したいスピーカーを選択し、**[OK]** ボタンを押す

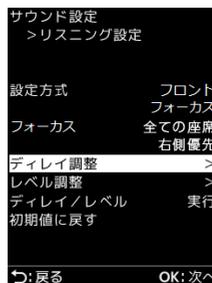


- 7 音を聴きながら **[▲]** または **[▼]** ボタンで設定値を変更し、**[OK]** ボタンを押す

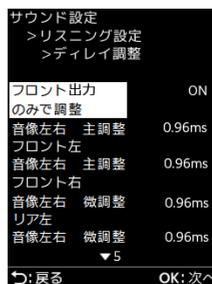
手順6と7をくり返して、各スピーカーに設定を行ってください。

フロントフォーカスの微調整をする

- 1 「リスニングを設定する」(P.20) の手順4で「フロントフォーカス」に設定する
- 2 **[▲]** または **[▼]** ボタンで「ディレイ調整」を選択し、**[OK]** ボタンを押す



- 3 **[▲]** または **[▼]** ボタンで「フロント出力のみで調整」を選択し、**[OK]** ボタンを押す



- 4 **[▲]** または **[▼]** ボタンで「ON」を選択し、**[OK]** ボタンを押す

5 下記の順で各項目を設定する

[▲] または [▼] ボタンで「音像左右 (主調整) フロント左」を選択し、[OK] ボタンを押す

[▲] または [▼] ボタンで設定値を変更し、[OK] ボタンを押します。音像イメージが座席の正面になるように調整します。

「音像左右 (主調整) フロント右」についても同様の手順で設定してください。

次に手順 3 から操作して「フロント出力のみで調整」を「OFF」に切り替えて、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は再度調整してください。



[▲] または [▼] ボタンで「仮想音場の広さリア左」を選択し、[OK] ボタンを押す

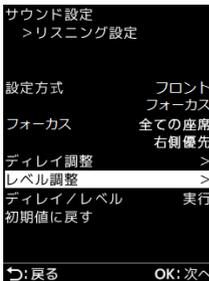
音を聴きながらお好みの広さのイメージになるように [▲] または [▼] ボタンで設定値を変更し、[OK] ボタンを押します。「仮想音場の広さリア左」を変更すると「仮想音場の広さリア右」の設定値も連動して変更されます。どちらか一方のみ設定してください。この調整で音像イメージが正面からずれたときは「音像左右 (微調整) リア左」/ 「音像左右 (微調整) リア右」で微調整してください。



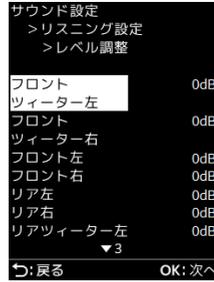
[▲] または [▼] ボタンで「サブウーファー左」を選択し、[OK] ボタンを押す

音を聴きながら [▲] または [▼] ボタンで設定値を変更し、[OK] ボタンを押します。「サブウーファー右」についても同様の手順で設定してください。

6 [▲] または [▼] ボタンで「レベル調整」を選択し、[OK] ボタンを押す



7 [▲] または [▼] ボタンで設定したいスピーカーを選択し、[OK] ボタンを押す



8 音を聴きながら [▲] または [▼] ボタンで設定値を変更し、[OK] ボタンを押す

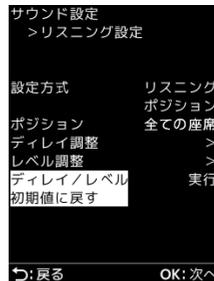
手順 7 と 8 をくり返して、各スピーカーの設定を行ってください。



- ・「フロント出力のみで調整」の「ON」設定は、「音像左右 (主調整) フロント左」または「音像左右 (主調整) フロント右」の項目を変更する場合にのみ反映されます。

設定した値を初期設定に戻す

1 「リスニングを設定する」(P.20) の手順 3 で「ディレイ/レベル初期値に戻す」を選択し、[OK] ボタンを押す



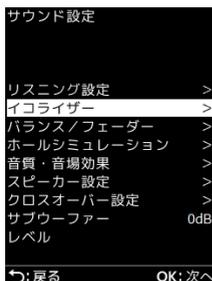
2 「実行」が選択された状態で [OK] ボタンを押す

ディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

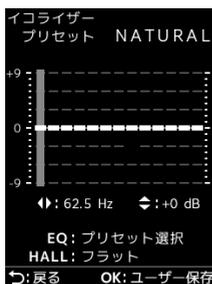
プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを設定します。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「イコライザー」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 設定したいプリセットイコライザー (ジャンル) を [EQ] ボタンで選択する



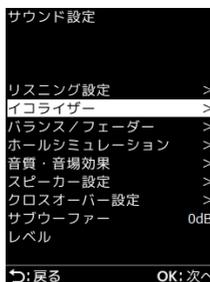
押すたびにイコライザーカーブが切り替わります。

ユーザーイコライザーを設定する

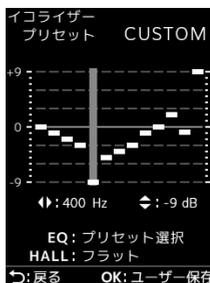
ユーザー独自のイコライザーカーブを設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してからイコライザーカーブを調整することもできます。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す

- 3 [▲] または [▼] ボタンで「イコライザー」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 [◀] / [▶] ボタンで調整する周波数帯域を選択し、[▲] / [▼] ボタンでレベルを調整する



[HALL] ボタン:

すべての周波数帯域を「NATURAL」(フラット)にします。

[◀] (戻る) ボタン:

前の画面に戻ります。設定値はキャンセルされず、そのまま残ります。

[OK] ボタン:

イコライザーカーブを保存します。▶ 「調整したイコライザーカーブを保存する」(P.24)

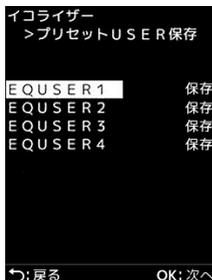


- 変更した設定はすぐに反映されます。画面を戻っても元の設定には戻りません。元の値に戻す場合は、再度設定してください。

調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの EQU SER 1 ~ 4 に保存できます。

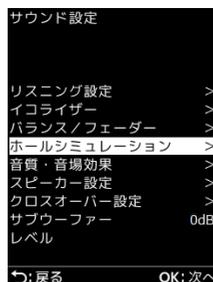
- 1 イコライザーカーブを調整し、「OK」ボタンを押す
→ 「ユーザーイコライザーを設定する」(P.23)
- 2 [▲] または [▼] ボタンで保存先を選択し、「OK」ボタンを押す



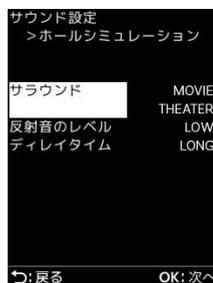
- 3 「保存」が選択された状態で「OK」ボタンを押す

ホールシミュレーションを設定する

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、「OK」ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「ホールシミュレーション」を選択し、「OK」ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで「サラウンド」を選択し、「OK」ボタンを押す



- 5 [▲] または [▼] ボタンで設定したいモードを選択し、「OK」ボタンを押す

反射音レベルと反射音のディレイタイムを設定することもできます。

「反射音のレベル」(LOW/MID/HIGH) または「ディレイタイム」(SHORT/MID/LONG) を設定して聴きながら調整してください。

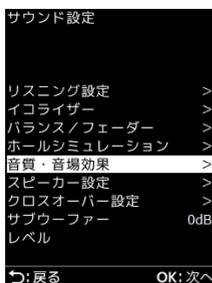


- ・ホールシミュレーションのサラウンドを設定しているときは、リアスピーカーの音量が小さくなります。

音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「サウンド設定」を選択し、[OK] ボタンを押す
- 3 [▲] または [▼] ボタンで「音質・音場効果」を選択し、[OK] ボタンを押す



4 各項目を調整する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージック バスブースト	OFF/1*/2 /3	低音楽器の音を增強する レベルを設定します。
ナチュラル ラウドネス	OFF/ LOW*/ HIGH	音量に応じて低域高域の バランスを保ち、小音量 時でも自然に聞こえるよ うに低音と高音を補正し ます。録音レベルが大き い曲の場合は LOW、小 さい曲の場合は HIGH が 適しています。
K2テクノロ ジー	OFF/ ON*	録音時に失われた信号成分 を補完し、より自然な音楽 再生にします。
サウンド・リ アライザー	OFF/1*/2 /3	ぼやけた音をはっきりさ せて、よりリアリティの ある音にします。ここ ではそのレベルを設定し ます。圧縮された音楽に 効果的です。
サウンド ライザー	OFF*/ LOW/ MIDDLE/ HIGH	実際のスピーカーの位置 よりも高い位置から音が 聞こえるような音響効果 を作り出します。ここ では、仮想スピーカーの 位置（高さ）を設定し ます。
クリアボイス	OFF*/ON	音声聞き取りやすくな ります。

*：お買い上げ時の設定です。



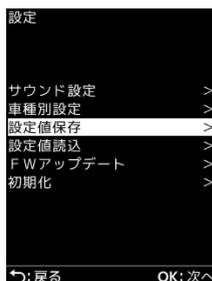
- 車種別設定を行うと、設定項目はすべて OFF になります。
- 「K2テクノロジー」は、株式会社 JVCケンウッドとビクターエンタテインメント株式会社が共同開発した、音源のデジタル化における高品質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質 評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。
- クリアボイスが ON のときはイコライザー機能は使用できません。

設定値の保存と読み込み

設定値を保存する

ユーザー独自で調整した設定を USER1 ~ 4 に保存することができます。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「設定値保存」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 3 [▲] または [▼] ボタンで設定したい保存先を選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 「保存」が選択された状態で [OK] ボタンを押す

設定値を読み込む

保存した USER1 ~ 4 の設定値を読み込むことで、保存した設定が反映されます。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで「設定値読込」を選択し、[OK] ボタンを押す



- 3 [▲] または [▼] ボタンで設定したい保存データを選択し、[OK] ボタンを押す



- 4 「読込」が選択された状態で [OK] ボタンを押す

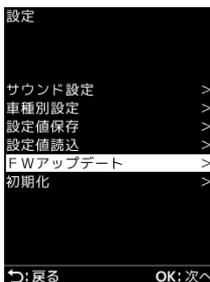
ファームウェアをアップデートする

本機のシステムファームウェアを更新します。
アップデートに関する情報は、当社ホームページ
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ をご覧ください。

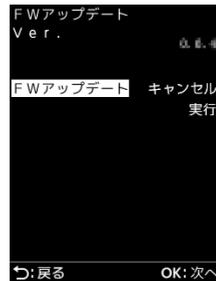


- ・ダウンロードしたファイルと本機のバージョンが同じ場合は、microSDカードを挿入してもアップデートが行われません。
- ・本機で使用できる microSD カードについては https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ をご覧ください。

- 1 市販の microSD カードをカードリーダーに挿入してパソコン (Windows または Mac) に接続する
- 2 当社ホームページ https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/ にアクセスして、ファームウェアアップデートのページからアップデートファイルをダウンロードする
- 3 ダウンロードしたファイルを microSD カードにコピーする
- 4 microSD カードをパソコンから取り出し、本機に挿入する
→ 「microSD カードを入れる / 取り出す」 (P.11)
- 5 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 6 [▲] または [▼] ボタンで 「FW アップデート」 を選択し、[OK] ボタンを押す



- 7 [OK] ボタンを押す

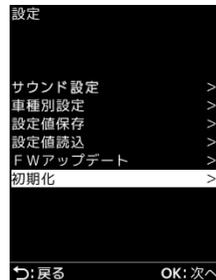


- 8 [▲] または [▼] ボタンで 「実行」 を選択し、[OK] ボタンを押す
更新を開始します。

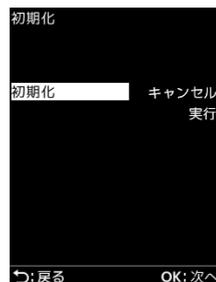
システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 メイン画面で [OK] ボタンを押す
設定画面が表示されます。
- 2 [▲] または [▼] ボタンで 「初期化」 を選択し、[OK] ボタンを押す



- 3 [OK] ボタンを押す



- 4 [▲] または [▼] ボタンで 「実行」 を選択し、[OK] ボタンを押す

接続のしかた

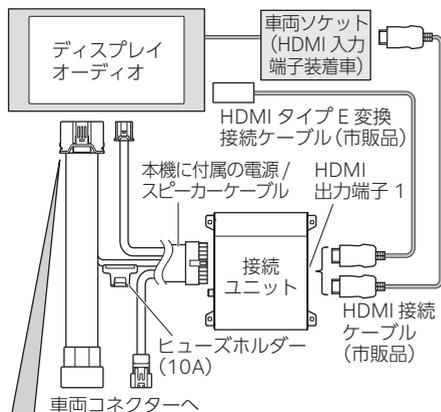
本機を使用するために、各機器との接続を行います。



- ・ 接続の詳細についてはスタートガイドの「接続のしかた」を参照してください。

ディスプレイオーディオを接続する

車内でお好みの音質設定により、音楽や映像をお楽しみいただけます。



⚠ 注意

コネクタを誤って接続すると故障の原因となります。接続するコネクタについては、必ず以下のウェブサイトをご確認ください。

https://www.kenwood.com/jp/faq/ce/option/kxc_ah100t/



HDMI 出力機器を接続する

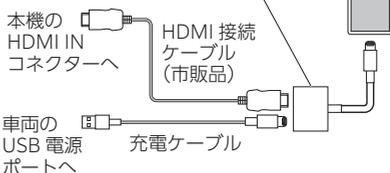
本機に HDMI 出力機器を接続すると、外部機器の映像や音声をディスプレイオーディオやリアモニターで再生できます。



■ iPhone の場合

iPhone の場合は以下のように接続してください。

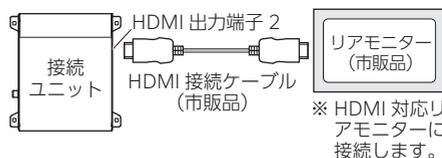
Apple 製
Lightning - Digital AV アダプタ/
USB-C Digital AV Multiport アダプタ



- ・ Lightning - Digital AV アダプタ/USB-C Digital AV Multiport アダプタおよび充電ケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因となります。

リアモニターを接続する

本機にリアモニターを接続すると、本機に入力された映像を表示することができます。



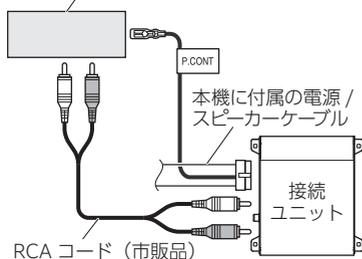
- ・ リアモニターは走行中でも映像が表示されます。リアモニターは運転者から見えないところに設置してください。

サブウーファーを接続する

本機の RCA 出力端子に、パワードサブウーファーまたはサブウーファー用パワーアンプを接続します。接続には市販の RCA コードが必要です。

なお、本機の RCA 出力端子はアンプを内蔵したパワードサブウーファーに対応しています。アンプを内蔵していない通常のサブウーファーに接続する場合は、サブウーファー用パワーアンプを経由してください。

パワードサブウーファー（別売品）または
サブウーファー用パワーアンプ（市販品）



- RCA 出力は、パワードサブウーファー入力またはパワーアンプ入力のいずれか一方のみ接続してください。
- ライン出力をプリアウトとして使用する場合は、➡「ライン出力を設定する」(P.16) をご覧ください。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

「故障かなと思ったら」と合わせてこちらもお覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない（リモコンのLCD表示や本体のLEDインジケータが点灯しない）。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認後、指定容量のヒューズと交換してください。
	電源 / スピーカーケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
電源が切れない。	車種によっては、エンジンをオフしても、しばらく車両側のACC電源がオフされない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	ACC電源のオフを検知できない。	
音が出ない。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 ➔ 「バランス/フェーダーを設定する」(P.19)
	電源 / スピーカーケーブルなどが間違っ て接続されている	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
	接続端子の接続不良。	端子を奥まで確実に差し込んでください。
	サブウーファーのスピーカー口径が「なし」に設定されている	接続しているサブウーファーのスピーカー口径を設定してください。 ➔ 「スピーカー構成を設定する」(P.14)
ディスプレイオーディオの音が小さい。	接続端子の接続不良。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンのコードをリモコン接続端子に接続し直してください。 ・ RCAコードが確実に接続されているか、確認してください。
	ディスプレイオーディオの音量が大きすぎるため、プロテクションが作動している。	ディスプレイオーディオの取扱説明書を参照して、ディスプレイオーディオの音量を適切に調整してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	ディスプレイオーディオ側のサウンド設定がフラット（中央）に設定されていない。	ディスプレイオーディオの取扱説明書を参照して、ディスプレイオーディオ側のサウンド設定をフラット（中央）に設定してください。
	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
リアモニターの映像が出ない。	接続機器の電源が入っていない。	接続機器の電源を入れてください。
	ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの接続状態を確認してください。
	接続機器が HDCP (HDCP とは不正コピーを防止する暗号化技術の 1 つです) に対応していない。	HDMI 機器を接続している場合は、HDCP にも対応している必要があります。

● microSD カード

症状	考えられる原因	対処方法
microSD カードを認識しない。	microSD カードスロットに microSD カードが入っていない。	microSD カードを microSD カードスロットに挿入してください。 ▶ 「microSD カードを入れる / 取り出す」(P.11)
	microSD カードの読み込みができなくなっている。	microSD カードをフォーマットしてください。それでも症状が改善しない場合は、microSD カードを交換してください。

● リモコン

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンの操作が効かない	リモコンのコードが抜けている。または差し込みが不完全。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コードをリモコン接続端子に確実に接続してください。 ・ 端子を奥まで確実に差し込んでください。 ・ スタートガイドを参照して正しく接続、固定してください。

■ メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
異常を検出したため、音声出力を停止しました。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問合せください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問合せください。	JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions.

ソフトウェアについて

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品には、以下に記載しています第三者のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアについては、後述するライセンス条件が適用されます。

M PLUS 1P Font

適用ライセンス : SIL Open Font License 1.1

第三者のソフトウェアに適用されるライセンス条件

SIL Open Font License 1.1

Copyright 2018 The Noto Project Authors
(github.com/googlei18n/noto-fonts)

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26
February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR

OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

主な仕様

■接続ユニット

オーディオ部	最大出力	50W x 4
	定格出力	29W x 4 (4 Ω ,1kHz,10%THD)
	インピーダンス	4 ~ 8 Ω
	ライン出力	RCA 端子 (サブウーファー出力) 最大出力レベル : 2.0Vrms
	グラフィックイコライザー	周波数 : 62.5Hz ~ 16kHz 調整幅 (Step) : ± 9dB(1dB)
	ローパスフィルター (サブウーファー出力)	カットオフ周波数 : 30Hz ~ 250Hz スロープ : -6dB/Oct. ~ -24dB/Oct. 調整幅 : ± 6dB/Oct. 位相 : 正転 / 反転
	ハイパスフィルター	カットオフ周波数 : 30Hz ~ 250Hz スロープ : -6dB/Oct. ~ -24dB/Oct. 調整幅 : ± 6dB/Oct.
	タイムアライメント	調整幅 (Step) : 0cm ~ 610cm(1cm) レベル調整幅 (Step) : -8 ~ 0dB(TW:0.5dB,SP:1dB)
外部入出力部	HDMI 入力	入力端子 : TYPE-A 1 系統
		対応 IF : HDMI HDCP 対応
		解像度 : ~ 1920 x 1080p
		音声信号方式 : リニア PCM 2ch
HDMI 出力	出力端子 : TYPE-A 2 系統	
	対応 IF : HDMI HDCP 対応	
	解像度 : ~ 1920 x 1080p	
	音声信号方式 : リニア PCM 2ch	
リモコン通信端子	オリジナルコネクタ	
SD カード部	マイクロ SD	SDHC (4GB ~ 32GB) /SDXC (64GB ~ 2TB)
	ファイルシステム	FAT32/exFAT
電源	電源電圧	DC 14.4V (10.5V ~ 16V)
	最大消費電流	10A
使用環境	使用温度範囲	-10 ~ +60℃
寸法 / 質量	本体部外形寸法 (W x H x D)	W : 145mm/H : 50mm/D : 137mm W : 145mm/H : 50mm/D : 117mm (本体部分)
	本体部質量 (重さ)	660g
	電源 / スピーカーケーブル長	2.5m、ヒューズ (10A) 内蔵

■ リモコン

リモコン LCD	画面サイズ	2.4 インチ
	解像度	320 x 240 pixel
寸法	外形寸法 (W × H × D)	W : 50mm/H : 121mm/D : 11mm
	ケーブル長	2.5m

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。